

# 10月

生き生き韓国文化



세종대왕

# 「ハングル」

韓国では訓民正音（ハングル）を創製したことを記念するため、10月9日を「한글날（ハングルの日）」という祝日として指定しています。今月はこのような「ハングルの日」に向け、韓国固有の表記文字、ハングルについて学んでみましょう！

## ハングルとは？

ハングルは朝鮮半島一帯で共用で使われている文字で、子音14文字と母音10文字で構成されています。李氏朝鮮の第4代国王、世宗（セジョン）が直接創製した文字のハングルは1443年に完成され、1446年に訓民正音（民を正しく訓える音）という名の書籍として頒布されました。

## 世宗大王

世宗大王は朝鮮の第4代国王で、韓国を代表する最高の聖君として称賛される人物です。韓国で「大王」の呼称で呼ばれることはそもそも珍しいことですが、その中でも最も尊敬される王と言え、世宗大王です。現代でも韓国人が尊敬する偉人ランキングを見ると、いつも指折り数えられます。

そして、韓国の中心部ともいえるソウルの「光化門（クァンファムン）」に行くと、青瓦台（チョンワデ、大統領府）と景福宮の前に大きい世宗大王の銅像が位置しています。光化門は韓国に行ったことがない方も一度は写真などで見たことがあるかと思います。各国の大使館や政府機関が集めており、韓国で政治的に何かがある時はここに集まってデモなどをする光景はニュースで良く見られます。

また、韓国で5月15日は「스승의 날（先生の日）」という記念日ですが、この日は世宗の誕生日に由来しています。つまり、韓国人にとって世宗大王とは、民族の恩師、そして韓国を代表する人物ともいえるのです。



**写真** 光化門広場の世宗大王銅像の前でユン交流員



## ハンゲル創製の背景

世宗がハンゲルを作る前まで、韓国では2種類の言語が使われていました。話す時は韓国語で、文章で書く時は古代中国語の漢字を使っていたのです。しかし、教育を受けることができなかつた一般民衆は、漢字を学ぶ機会が全くありませんでした。また、朝鮮時代の官僚になるためには、必ず漢字をよく覚え、書くことができなければならなかつたため、富裕層がさらに豊かになる一方、一般民衆はさらに貧しくなり、階層の固定化が進みました。

また、文を読むことができない階層は自分が言おうとすることを文として表現することができなかつたため、王が一般民衆の実情を知ることはなかなかできませんでした。そのような状況を変えようとしたのが世宗です。彼は簡単な文字体系を作って、一般民衆でも文字が書けるようにしました。「訓民正音」の序文を見ると、このような創製理由がよく書かれています。

**わが国の語音は中国とは異なり、漢字と噛み合っていないので、愚かな民衆は言いたいことがあっても書き表せずに終わることが多い。予（世宗）はそれを哀れに思い、新たに28文字を制定した。人々が簡単に学習でき、また日々の用に便利ないようにさせることを願ってのことである。**



## ハンゲルのグッズ

「ハンゲルの日」には各ブランドが、多様なハンゲルのグッズを発売します。教保文庫（韓国最大規模の書店）、スターバックスなどで発売されるハンゲルグッズは入手困難なほど大人気です。



/KAKAO MAKERS



/STARBUCKS KOREA